

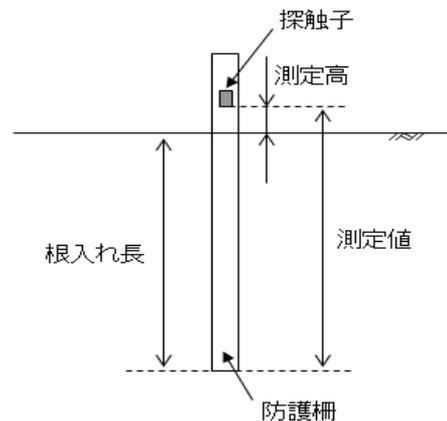
超音波による防護柵の根入れ長測定

平成22年3月に国土交通省が「非破壊試験による鋼製防護柵の根入れ長測定要領（案）」を発行し防護柵（土中埋め込み式）の出来高管理に非破壊試験による根入れ長測定が適用されました。

非破壊試験の中で超音波探傷試験を使用することで、工事施工後に根入れ長が適切に確保されているかを塗装・メッキをはく離することなく精度よく、容易に確認できます。

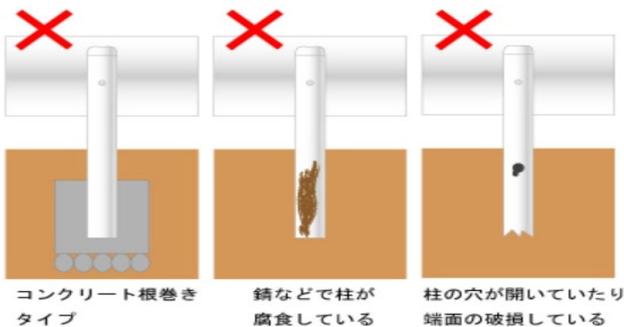
●測定方法

地上部の防護柵の側面に超音波探触子を接触媒質を介して密着させ、先端方向に超音波を送信します。先端から反射してくる超音波を受信し、その時間差から根入れ長さを測定します。



$$\text{根入れ長} = \text{測定値} - \text{測定高}$$

●測定が不可能な場合の防護柵形状



●非破壊試験による抜き取り率

「非破壊試験による鋼製防護柵の根入れ長測定要領（案）」（国土交通省 平成24年6月により監督職員が指定した支柱（種別毎に支柱本数の20%以上）を測定。

●判定基準

$-100\text{mm} \leq \text{測定根入れ長} - \text{設計根入れ長} \leq +100\text{mm}$

●測定精度の確認

測定する防護柵と同一品で超音波装置の調整と精度確認を行う。



東洋検査工業株式会社

本社

〒640-8306 和歌山市出島31-5

TEL 073-471-1311

FAX 073-474-6211

URL <https://www.toyo-kensa.co.jp/>

大阪支店 大阪営業所

非破壊関連

TEL 072-245-0825

インフラ関連

TEL 072-245-5013

和歌山営業所

TEL 073-476-1711

鹿島営業所

TEL 0299-92-7481

技術ソリューション部

TEL 073-476-1211

インフラ技術センター

TEL 073-471-1811